

## 専門研修プログラム

## 麻酔科（基幹）

当院の麻酔科専門研修（基幹）プログラムを紹介します。

### 当院での研修の特徴

地域の基幹病院として幅広い手術症例を経験できます。

急性期症例を多く扱う地域の基幹病院として、先天性心疾患を含む心臓大血管の麻酔、産科・小児科の麻酔、その他ほぼ全ての領域での麻酔症例を網羅できます。また、最近では、経カテーテル大動脈弁留置術、胸部・腹部の大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術、ロボット手術、気管ステント挿入術など、先進的な治療への取り組みが急速にすすみ、麻酔科による周術期管理がますます幅広くなってきました。各科とのコミュニケーションも良好で、周術期のチーム医療を経験できる環境が整っています。

### 専門研修施設群

#### 連携施設（3施設）

（愛知県）名古屋大学医学部附属病院、藤田保健衛生大学病院  
（岐阜県）岐阜大学医学部附属病院

※当院は、大学病院の連携施設でもあります。

### 症例数（2017年度）

当院で経験できる症例のみでも専門医取得の条件を満たしますが、他施設での経験も重要と考えますので、他施設での研修も積極的にサポートします。

診 療 科	症例数
小 児 （6歳未満）の 麻 酔	173
帝 王 切 開 術 の 麻 酔	88
心 臓 血 管 手 術 の 麻 酔 ( 胸 部 大 動 脈 手 術 を 含 む )	205
胸 部 外 科 手 術 の 麻 酔	209
脳 神 経 外 科 手 術 の 麻 酔	113

## 研修のモデル



基幹施設である大垣市民病院で、専門研修（専攻医）1年目、2年目の2年間の研修を行い、3年目に、連携施設にて1年間の研修を行ったのち、再び、大垣市民病院にて4年目の研修を行います。

専攻医1年目に基本的な手技と専門知識を修得し、2年目に全身状態の悪い患者や緊急手術の周術期管理を指導医の指導のもとに行います。3年目にはさまざまな特殊症例の周術期管理を指導のもと行うほか、ペインクリニックや集中治療などの関連領域の臨床に携わります。4年目はトラブルのない症例を一人で周術期管理するほか、難易度の高い症例等については、適切に上級医をコールして管理します。

## 指導医

当院の内科領域の指導医は、現在2名在籍しています。

（専門研修指導医1名、麻酔科専門医1名）

研修施設群全体の指導医は、40名です。

診療科及び役職	指導医名	
麻酔科	部長	高須 昭彦
	医員	後藤 紗葉

## 募集について

- ◆定員 2名（1学年） ◆選考方法 書類選考及び面接試験を行います。
- ◆詳細については、[こちらへ](#)
- ◆申請書は、[こちらへ](#)
- ◆病院見学の希望については、[こちらへ](#)
- ◆その他のお問い合わせについては、以下へお願いします。

大垣市民病院 事務局庶務課 人事グループ 担当：古田

TEL:0584-81-3341 （内線：6133）